平成２３年度事業報告

１、概要

（全体）23 年度は、奈良と新潟の絆が目に見える形で強化された年であった。前年度の全国巡回展「奈良の古寺と仏像　會津八一のうたのせて」によって、八一の業績は再び全国化しつつあり、その波及は中宮寺の歌碑建立（22 年 11 月 29 日）、中宮寺姉妹歌碑建立（23 年 7 月 4 日）、そして新潟市・奈良県歴史文化交流協定の締結（24 年 2 月 17 日）に結実した。流れは新年度へ引き継がれ、斑鳩町が町制 65 周年記念の八一歌碑建立を進めている。奈良を拠点にして愛知・春日井市展（24 年 4 月 27 日～6 月 10 日）、京都展（24 年 10 月 6 日～12 月 2 日）へと展開する流れである。このほか国際交流基金の新年カードに八一の歌が採用されたことは象徴的であろう。しかし当館の入館者数は 7560 人（前年度比 7％増）と、不景気と東日本大震災が響いてか微増に止まった。

（展示）特別展「會津八一ｖｓ北大路魯山人～傲岸不遜の芸術家～」は入館者が 3961 人（前年度特別展比 56%増）となり、久々のヒットとなった。これまで高村光太郎、濱谷浩と続いた同時代の文化人とコラボレーション企画が、それなりに結実したとも言え、24 年度の入江泰吉展へと進行中である。**春の企画展**「中国　古俑の世界　～八一憧憬・高島コレクション～」では、寄贈された収集コレクションを並べ、東洋美術史学者として八一を紹介した。**夏の企画展**は日米開戦 70 周年を意識して「戦争と八一」展と銘打ち、軍国主義に揺さぶられながらも、戦場に赴く教え子に最後の奈良研修をした教育者八一の姿を紹介した。しかし入館者はわずか 987 人。タイトル、企画、広報など多面的な検証が必要だ。**冬の新収蔵品**展兼第５回写真コンテスト入賞入選作品展は入館者数 949 人と過去４年間微増傾向である。

（講演会）主催では５回（館外講師４回、館長１回）、館長講座６回で総計 11 回開催し、聴講者数は延べ 1438 人。他団体主催の出前講演会・講座は９回（館長４回、喜嶋３回、湯浅２回）、延べ総聴講者数は 1355 人。全講演回数は 20 回（前年度 36 回）、受講者総数 2793 人（同 4939 人）にのぼった。過剰だった前年度の仏像展関連の講演回数より減少させたが、しかし要請は着実に増加している。

（イベント）第５回写真コンテストは従来の課題部門に加え、自由部門（「悠久の五十首」より自由選択）を新設した効果で、応募は 115 点（前年比 82%増）と急増したため、第６回は自由部門のみの募集とした。授賞式・講評会は従来通り開催した。この事業には引き続き共催５、協賛２、協力５の 12 団体から金銭や物品の支援を受けた。

（新潟日報コラム）４月１日より和泉久子先生の指導下で１面題字脇に学芸員も解説を執筆した「秋艸道人の歌」を１年間続け、大きな反響があり近く出版の運び。24 年度も同コラムは継続中である。

（作品貸し出し・その他）作品貸し出しは胎内市會津八一記念実行委員会、新潟市潟東地域コミュニティ協議会、全国高等学校書道教育研究会、新潟市立中央図書館へと増加傾向にある。また博物館実習として東京学芸大生１名を 12 月に引き受けた。当館初めての経験であり、多忙な学芸員が研修カリキュラムを作成し、指導した経験は自らの業務再検証に役立ったと思われる。

２、事業の内容

（ア）展覧会事業　常設展（経費 1,573,682 円）=前年度 1,261,456 円比 24.7%増
特別展（経費 5,279,349 円）=前年度 3,134,103 円比 68.4%増

	22 年度 入館者数	22 年度 開催日数	23 年度 入館者数	23 年度 開催日数	23 年度 入館累計
４月	303	7	241	14	241
５月	1430	28	675	25	916
６月	1082	10	747	19	1663
７月	513	27	471	25	2134
８月	493	26	415	26	2549
９月	740	23	1075	17	3624
１０月	640	27	1508	26	5132
１１月	929	20	1479	25	6611
１２月	174	8	122	7	6733
１月	249	24	290	24	7023
２月	323	24	212	25	7235
３月	189	24	325	22	7560
合　計	7064	254	7560	255	

23 年度観覧料収入 2,670,500 円（前年度 2,506,800 円比 6.53%増）

（特別展）

會津八一生誕 130 年・没後 55 年記念　「會津八一ｖｓ北大路魯山人」～傲岸不遜の芸術家～

（平成 23 年 9 月 16 日~11 月 30 日　開催日数　65 日間）

八一と同時代に活躍し、漫画「美味しんぼ」でも紹介され、書家、陶芸家、美食家として知られた北大路魯山人との二人展を開催した。八一と魯山人とは交流がなかったものの、共通して追求した芸術は「書」であった。お互いに対抗心をむき出しながらも、独特の書の傑作を生み出した。展覧会では、八一と魯山人の“対決”を コンセプトに、何必館・京都現代美術館所蔵の八一と魯山人の書画及び陶磁器作品の名品を中心に展示した。さらには、魯山人が制作し星岡茶寮で使用した器も陳列した。新潟県内をはじめ、遠方からも多くの来場者がみえ、特別展としては、数年来みなかった大幅な入館者増を記録した。「八一と魯山人との作品が比較されて分りやすかった」など展示内容は好評だった。

会期中、魯山人に仕えていた辻義一氏（懐石辻留主人）、神林恒道館長による講演会を開催した。また、陳列中の魯山人自画像の解読案を食事券懸賞付きで募集し、25 通の応募があった。特別展に親しんでもらうため始めた企画だが、応募者が真剣に考えていただき、魯山人を身近に考えるきっかけになったように思う。魯山人と食との絡みから、古町市内 6 店舗の飲食店に声をかけて、当館の入館券半券提示による割引サービスを実施したが、広報が行き届かなかったせいか、利用者が少なかったようだ。

入館者数３，９６１人（前年度「會津八一　人生の書」2216 人）

（企画展）

①中国　古俑の世界　～八一憧憬・高島コレクション～

（平成 23 年 4 月 15 日~6 月 22 日　開催日数　58 日間）

当館評議員で八一の学統を継ぐ高島義彦氏（八一の高弟・安藤更生門下）から寄贈を受けた明器と瓦当５０点を中心に展示した。これらの貴重な作品群は、八一が苦心して収集した美術資料と多くの共通点があった。また当館が収蔵する八一の揮毫による漢詩書等も陳列した。八一の漢字作品は中国の古典から引かれたものが多く、高島コレクションとあわせて、八一が憧れた中国文明を紹介した。通常は書画作品の多い当館の展示だが、今回は立体物が多く、俑の展示が好評だった。しかし、東日本大震災がなお生々しい時期で、前年度より入館者数が下回ってしまった。避難してきた来館者には記念館グッズなどをサービスし、励ました。

入館者数１，６６３人（前年度「生涯と業績をたどる」2439 人）

②戦争と八一

（平成 23 年 7 月 3 日~9 月 4 日　開催日数 54 日間）

日米開戦 70 年の節目の年にあたり、八一が生きた「戦争」の時代とその芸術を再検証する企画展。平成 22 年に放映された NHK 教育「日曜美術館」で、八一と学徒出陣で次々と戦場へ送られていく教え子たちとの交流が紹介されたことから、このテーマを絞って作品資料を紹介した。特に、戦中戦後の歌集「山光集」、「寒燈集」の歌書などを展示。教え子長嶋健氏に送った日の丸に揮毫した書作品を展示したところ、同様の作品を所蔵する方から連絡があり、急きょ追加展示するなど、新資料の発見もあった。しかし、未曾有の大震災の後で重いテーマが敬遠されたのか、入館者数は伸び悩んだ。戦後半世紀以上過ぎ、体験者の高齢化、人々の意識が薄まっている中で、戦争というテーマをストレートに受け入れてもらうことの難しさを感じる展覧会だった。

入館者数９８７人（前年度「私が選んだ會津八一の書」1474 人）

③新収蔵品展

（平成 23 年 12 月 20 日~平成 24 年 3 月 25 日　開催日数 76 日間）

平成 23 年度に新たに収蔵された作品資料を中心に、記念館収蔵の名品を展示。展示内では「歌と書の中の《春》」、「《画》のある作品」と「新収蔵品」という三つのテーマで紹介した。これは八一が詠んだ「あたらしき　まちのちまたの　のきのはに　かがよふはるを　いつとかまたむ」が、国際交流基金の年賀状に使用されたこと、中田瑞穂との合作「心友合作」が新潟大学医歯学総合病院のカレンダーになったことに因んでテーマ設定した。「新収蔵品」では、額作品「黒光菴」などを初紹介することができた。また、第５回写真コンテスト入選入賞作品展の入賞作品は、例年と同じようにガラスケース内に展示したが、写真が見辛いという批判を多くいただき、展示場所を急きょ変更した。例年以上の大雪が影響して、入館者数が伸び悩み、昨年度とほぼ横ばい。

入館者数９４９人（前年度「題字の美　～併設 第 4 回写真コンテスト入賞入選作品～」935 人）

（展示等に対する評価）＝入館者アンケート結果（＋＝好評　、　－＝不評）
回答者数976人　（回答率12.9%）

展覧会名	作品解説の評価	展示量の評価	全体的評価
中国　古俑の世界	＋89%　－ 9%	＋81%　－17%	＋90%　普通 9%
戦争と八一	＋94%　－ 4%	＋84%　－15%	＋92%　普通 7%
八一ｖｓ魯山人	＋90%　－ 7%	＋81%　－16%	＋97%　普通 2%
新収蔵品展	＋92%　－ 8%	＋76%　－20%	＋93%　普通 5%

（接客に対する評価）回答者数255人（回答率3.6%）　・良い66%・普通33%　悪いor無回答　1%

★総括＝①作品解説は前年度より５ポイント上昇②展示量は２ポイント減、特に冬期の「新収蔵品展」では写真コンテスト入賞入選作品を兼ねており、書作品増量の工夫が必要③全体的評価は横ばい④接客では「悪い・無回答」が３ポイント減となっており、ほぼ横ばい。

（主な来館者）※当館理事、評議員は除く

・4月＝大橋一章前早大會津八一記念博物館館長、川尻秋生早大會津八一記念博物館副館長（15日）、高橋与兵衛氏（写真家）（28日）

・5月＝太向諸橋徹次記念館館長、佐和田学芸員（3日）、横山新津美術館館長（4日）、平田保雄日本経済新聞社副会長（5日）、潟東中学生徒と教師（11日）、東京学館高校（13日）、万葉洞・大濱氏、大阪市立東洋陶磁美術館出川哲朗館長（14日）、長岡江陽中、新潟上山中（20日）、南魚沼良寛会（21日）反町タカ子氏、新潟高校66回卒業生、真家和生大妻女子大学博物館学芸員課程主任教授（22日）

・6月＝日本麻雀連盟全国大会一行（12日）、大森新津美術館学芸課長（15日）、西おやこ劇場（16日）、下田村・漢学の里諸橋大学（17日）、新潟医療福祉大学生、胎内市會津八一事業実行委員会（18日）、八木容之助氏、長岡絵手紙の会（19日）、平山征夫新潟国際情報大学学長（21日）安藤更生氏の長女・安藤夏野氏、露木和子早稲田大学校友会評議員（22日）

・7月＝小海グリーンエネジー社長（1日）、日野西光尊中宮寺門跡、島野尊章師、小城恵美斑鳩町長夫人、新潟市長、諫山青陵大学学長、荒川新潟高校校長（4日）、北嶋藤郷氏（12日）、万代タクシー社員研修（14日）、田路勝久氏（15日）、喜多方市中央公民館高齢者大学（20日）、西崎流舞踊家・西崎みゆき氏、演出家由井宏典氏（21日）、ブルボン社員、橋本新潟大学教授（23日）喜多上氏（24日）、長野県カルチャースクール、万代タクシー研修（27日）、泉田宗健大徳寺長老、杉山英昭国学院大学教授（31日）

・8月＝今湊良敬中央幼稚園園長（２日）、山形県鶴岡北高校生徒と教師（5日）、三浦誠氏・帝塚山大学三浦信一郎教授の子息（６日）、借用者山本順一氏、月見草の会（10日）、寺田農氏の元マネージャー・伊藤夫妻（11日）、本庄第一高校（12日）、捧賢一雪梁舎理事長（26日）、関青陵大学理事長、高山千代教授、小鍛冶課長、栗林大学事務局長（30日）

・9月＝村山吉廣早稲田大学名誉教授（16日）、借用者「大丸」主人と息子（18日）、書家菅井柳翠氏、料亭南都屋の夫妻（19日）、寄居中学生徒と教師（27日）、徳永県立近代美術館館長、佐藤北方文化博物館事務局長（28日）篠田市長、燕市婦人会、北海道ＮＴＴＯＢ会（30日）

・10月＝北村民男・千曲館営業部長（1日）、借用者江川蒼淵氏（2日）、三条市高齢者教室（4日）、新潟大学書道科（8日）、旗野博春城会事務局長、ＮＨＫ京都文化センター飯田忠義氏（9日）、飯山正雄書壇院理事長（10日）、料理家辻義一氏、市島紀郎氏夫人、平安堂主人、塩田新潟市美術館館長（15日）、東京鹿鳴会、故櫻井春隆夫人一家（16日）、植村鞆音氏、村杉温泉長生館・荒木紀子氏（19日）、稲門書道会（22日）、県立医療福祉大学生（23日）、ＮＳＴ村山会長、糸魚川・御風会（25日）、高田北城高、長岡大手高（27日）柳澤智子書壇院副理事長（28日）、今成漬物店女将（29日）

・11月＝長谷川義明全国良寛会会長、熊谷市行政一行（2日）磯島岩雄巻菱湖記念時代館長（5日）、裏千家今日庵老分信越地区長（6日）、画家関屋俊彦氏息子関屋和之氏（9日）、星野喜之一樋口記念美術館解説員、引田亨、瑞穂、直哉氏（11日）、新潟高校生徒（12、13日）新潟大学書道科学生（13日）便利堂・中村興二、尭子夫妻、全国高校書道教師研修会参加者（18日）、大島・早大會津八一記念博物館助手（22日）上原明・日産社長（26日）三留夫妻（寺田農氏の姉）（30日）

・12月＝桜井新潟高校教諭（22日）、書壇院会員（24日）、大阪屋竹中氏（27日）

・2012年1月＝笠原新潟放送興業顧問（5日）、放送大学学生（7日）、かりん同人（21日）

・2月＝増田芳男放送大学教授（1日）ぶらり街あるき新潟文学講座受講生（４日）、柿木原相模女子大教授と学生（8日）、西村ちなみ衆議議員（11日）、水原園博・川端康成記念会事務局長（14日）、山梨書道協会団体（18日）、寄贈者二木憲一氏（25日）

・3月＝牧野庄三元理事夫妻（3日）、篆刻家大橋成行氏（8日）、群馬辰巳館（13日）分水北地区町づくり協議会（17日）、大倉宏砂丘館長（22日）、新潟美術学園（24日）奈良淨教寺住職一家（30日）

（イ）講演会事業

①八一祭記念講演会（有料　500 円）
テーマ「八一・良寛・沢庵」
講　師　泉田宗健師（大徳寺派　松源院住職）
日　時　8 月 1 日（月）　午後 2 時～3 時 3 0 分
会　場　りゅーとぴあ　能楽堂（新潟市民芸術文化会館内）
入場者　２７５人

②特別展関連第 1 回文芸講演会（無料）
テーマ「総合芸術家としての北大路魯山人」
講　師　神林恒道　會津八一記念館館長
日　時　9 月 23 日（金祝）午後 2 時～3 時 3 0 分
会　場　新潟市美術館講堂
入場者　１２２人

③特別展関連第 2 回文芸講演会（有料　500 円）
テーマ「北大路魯山人にお仕えして」
講　師　辻　義一氏（「懐石辻留」主人）
日　時　10 月 15 日（土）午後 2 時～１５時３０分
会　場　りゅーとぴあ　能楽堂（新潟市民芸術文化会館内）
入場者　２８５人

④第 1 回文芸講演会
テーマ　中国古代のやきものの造形
講　師　出川哲朗氏（大阪市立東洋陶磁美術館館長）
日　時　5 月 14 日（土）
会　場　クロスパルにいがた　映像ホール
入場者　１２１人

⑤第 2 回文芸講演会
テーマ　戦争と會津八一
講　師　喜多上氏（文芸評論家）
日　時　7 月 24 日（日）
会　場　クロスパルにいがた　映像ホール
入場者　１１０人

（ウ）普及活動事業

①館長講座＝参加者負担　講師：神林恒道館長
会場：クロスパルにいがた　映像ホール
・第 1 回　5 月 28 日（土）「炎の人」とバン・ゴッホ　90 人
・第 2 回　6 月 25 日（土）ロートレックと「ムーランルージュ」　104 人
・第 3 回　7 月 23 日（土）「モンパルナスの灯」とモジリアニ　87 人
・第 4 回　9 月 24 日（土）「フェルメールと「真珠の首飾りの少女」の真実　88 人
・第 5 回　10 月 14 日（金）「カラバッジオ」その天才の光と影　69 人
・第 6 回　11 月 26 日（土）「ミケランジェロの「華麗なる激情」　87 人

②出前講座＝その他の団体主催による講演

・ 5 月 21 日（土）講演「會津八一と越後の文人」
主催：全国良寛会　会場オークラホテル新潟　講師：神林館長　650 人

・ 6 月 29 日（水）講演「會津八一と奈良」
主催、会場：新潟高校 2 年生全員　講師：喜嶋学芸員　390 人

・ 9月28日（水）講演「會津八一の魅力　胎内市ゆかりの文人」
主催：胎内市産業文化会館　講師：湯浅学芸員　60人

・ 11月 8日（火）同行解説「八一足跡巡りバスツアー」
主催：秋艸会　講師：喜嶋学芸員　39人

・ 11月19日（土）講演「良寛と會津八一」
主催：新発田市良寛会　講師：神林館長　70人

・ 12月21日（水）講演「會津八一ｖｓ北大路魯山人～傲岸不遜の芸術家～」
主催：亀田福寿大学　会場：亀田公民館　講師：喜嶋学芸員　53人

・ 2月2日（木）　講演「新潟の文化」
主催：日産グループ春光会　会場：日航ホテル　講師：神林館長　50人

2月4日（土）　同行解説「ぶらり街あるき新潟文学講座」　講師：湯浅学芸員　38人

・ 2月16日（木）講演「美術教育の在り方」
主催：青陵大学教職会　会場：青陵大学　講師：神林館長　55人

③博物館実習
期　間：12月13日（火）～20日（火）6日間
実習生：1人　東京学芸大学芸術スポーツ文化課程4年　田澤真奈美さん

④（所蔵品貸出展覧会）
・「尾竹三兄弟・安宅安五郎と学芸諸家」
10月7日（金）～11月6日（日）　所蔵品3点貸出　新潟市潟東歴史民俗資料館

・「會津八一通り」誕生記念事業　歌碑拓本展
10月7日（金）～9日（日）　所蔵品4点貸出　胎内市産業文化会館

・第36回全国高等学校書道教育研究会新潟大会
11月17日（金）　写真パネル、複製品など貸出　全日本高等学校書道教育研究会

・「會津八一の歌碑をめぐる」展
11月2日（水）～24年1月31日（木）　所蔵品2点貸出　新潟市中央図書館

・第4回秋艸道人賞写真コンテスト入賞入選作品　巡回展
新潟展：5月28日（土）～ 6月26日（日）　ビュー福島潟
10月 7日（金）～ 9日（日）　胎内市産業文化会館
奈良展：10月11日（火）～16日（日）　奈良県立図書情報館

（エ）学習講座（参加者負担）
・會津八一の歌を読む会　講師：若月忠信氏（文芸評論家）
砂丘館　毎月第1土曜日　受講者15人

（オ）イベント
①「會津八一の歌を映す」第5回秋艸道人賞写真コンテスト（総事業費2，682，296円）
・公募期間　4月から11月12日（作品搬入11月5日～12日）
・応募点数　115点
・応募人数　69人（県内35人　県外34人）
・審査委員　淺井愼平（委員長）、大橋一章、若松保広、和泉久子、神林恒道の5氏
・審査会　11月24日　14時～17時　ホテルオークラ
・審査結果　秋艸道人賞に三条市の新飯田　茂雄さん

奨励賞６人は県内４人、奈良県１人、石川県１人）
入選は 23 人（県内 12、奈良３、埼玉 3、福島、愛知、兵庫、京都、島根各１）
・記者発表　11 月 25 日（金）午前 10 時 30 分～
新潟県政記者クラブ　淺井委員長、神林館長、武藤事務長
・授賞式・作品講評会＝審査委員と受賞者の対話方式（入場無料）
24 年 1 月 21 日（土）午後 2 時～4 時　　クロスパルにいがた映像ホール 参加人数 86 人
・祝賀会（参加者負担）
24 年 1 月 21 日（土）午後 5 時～6 時 30 分　ホテルオークラ　　参加人数 49 人

②奈良中宮寺姉妹歌碑除幕式
・日時　　7 月４日（月）
・式典　　参加人数６０人
・祝賀会　イタリア軒　参加人数４０人
姉妹歌碑の拓本　限定販売

（カ）鑑定会　（経費 213，356 円）
春の部　　5 月 29 日（日）　　総点数 8 点　認定数　5 点　　収入 230，000 円
秋の部　　10 月 16 日（日）　　総点数 11 点　認定数 11 点　　収入 440，000 円

（キ）新収蔵品
○寄贈　會津八一書「黒光庵」「みとらしの」など　計９点
○寄託　會津八一書き入れ陶器　　計１点

（ク）販売活動
・「学規」割引セール　実施期間 23 年度（23 年 2-5 月、24 年 2-3 月）
額装１４点　未表装６点　色紙３６点　　販売合計５６点
・姉妹歌碑拓本　限定販売　未表装　１１５点　実施期間７月４日～　完売 60 万 8000 円

（ケ）広報活動
①新聞〈新潟日報〉　記事 63 回、広告(展覧会)31 回、（複製学規、書籍)35 回
題字脇「秋艸道人」コラム　３５６回
〈産経新聞〉　記事 3 回（魯山人展と写真コンテスト）
＊〈讀賣新聞〉　記事 12 回（関西地区・「會津八一の歌巡り」中田紀子さん執筆）

②テレビ、ラジオ（ＢＳＮ新潟放送）
テレビ＝ＣＭ１５秒　４２本　ニュース１本
ラジオ＝ＣＭ２８７本　　生出演１回

③市報にいがた
展覧会、講演募集　　10 回

④ホームページ　バナー広告

（コ）学校団体見学　　合計　　５７８人

・4 月 28 日	新潟市立関屋中学校	１３人
・5 月 11 日	新潟市立潟東中学校	２２人
・5 月 13 日	東京学館新潟高校	４４人
・6 月 18 日	新潟医療福祉大学	２２４人
・8 月 12 日	埼玉県本庄第一高校	２０人
・9 月 27 日	新潟市寄居中学校	１０人
・10 月 23 日	県立医療福祉大学	１６４人
・11 月 8 日	新潟市立木戸中学校	４人
・11 月 13 日	新潟高校書道部	３１人
・11 月 13、26 日	新潟大学書道科	４６人

法　人　名：公益財団法人會津八一記念館

収支計算書

平成 23年　4月　1日 から平成 24年　3月 31日 まで

（単位：円）

科　　目	予　算　額	決　算　額	差　　異
Ⅰ　事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入			
基本財産利息収入	3,204,000	3,203,957	43
基本財産配当金収入	130,000	130,000	0
基本財産運用収入計	3,334,000	3,333,957	43
②特定資産運用収入			
収蔵品取得基金利息収入	1,600	1,543	57
③事業収入			0
書籍・グッズ等販売事業	4,850,000	4,967,629	△ 117,629
館長講座事業収入	514,000	514,500	△ 500
特別展事業収入	874,000	874,574	△ 574
図録広告事業収益	670,000	670,000	0
鑑定事業収益	670,000	670,000	0
写コン共催・協賛収益	500,000	500,000	0
受託事業収益	32,132,000	32,131,950	50
事業収入計	40,210,000	40,328,653	△ 118,653
④寄付金収入			
寄付金収入	2,500,000	2,590,000	△ 90,000
⑤雑収入			0
受取利息収入	1,680	1,687	△ 7
雑収入	450,000	491,839	△ 41,839
雑収入計	451,680	493,526	△ 41,846
事業活動収入計	46,497,280	46,747,679	△ 250,399
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
書籍・グッズ等仕入高	3,450,000	3,409,187	40,813
給料手当支出	17,927,000	17,906,598	20,402
退職給付支出	516,000	516,000	0
福利厚生費支出	2,223,000	2,202,014	20,986
旅費交通費支出	1,297,000	1,350,486	△ 53,486
通信運搬費支出	580,000	579,641	359
備品購入費支出	82,000	81,417	583
印刷・消耗品費支出	928,000	946,760	△ 18,760
営繕費支出	1,068,000	1,058,788	9,212
清掃費支出	828,000	819,552	8,448
警備費支出	884,000	883,260	740
光熱水料費支出	2,426,000	2,423,831	2,169
租税公課支出	1,009,000	665,500	343,500
寄付金支出	134,000	133,780	220
委託費支出	498,000	497,700	300
企画事業費支出	401,000	398,659	2,341
特別展費支出（自）	5,000,000	4,979,857	20,143
鑑定費支出	215,000	213,356	1,644
自主常設費	504,000	154,929	349,071
イベント事業費支出（自）	2,700,000	2,682,296	17,704
資料制作費	182,000	181,100	900
調査費支出	480,000	478,921	1,079
収蔵品整理整備費支出	310,000	309,025	975
常設展費支出	1,076,000	1,418,753	△ 342,753
特別展費支出	300,000	299,492	508
雑支出	180,000	173,133	6,867
事業費支出計	45,198,000	44,764,035	433,965
②管理費支出			
打合せ会議費支出	230,000	210,782	19,218
交際費支出	655,000	651,129	3,871
旅費交通費支出	1,600,000	1,355,842	244,158
通信運搬費支出	380,000	259,930	120,070
印刷・消耗費支出	687,000	673,473	13,527
図書購入費支出	60,000	59,855	145
保険料支出	110,000	99,056	10,944
租税公課支出	70,000	0	70,000
研修費支出	150,000	149,260	740
広告宣伝費支出	430,000	427,324	2,676

委託費支出	667,000	665,300	1,700
雑支出	140,000	135,034	4,966
管理費支出計	5,179,000	4,686,985	492,015
③その他の支出			
法人税、住民税及び事業税	0	70,000	△ 70,000
事業活動支出計	50,377,000	49,521,020	855,980
事業活動収支差額	△ 3,879,720	△ 2,773,341	△ 1,106,379
Ⅱ 投資活動収支の部			0
1. 投資活動収入			0
①特定資産取崩収入			0
収蔵品取得基金取崩収入	1,650,000	1,650,000	0
投資活動収入計	1,650,000	1,650,000	0
2. 投資活動支出			0
①特定資産取得支出			0
退職給付引当資産取得支出	0	100	△ 100
収蔵品取得基金取得支出	0	1,543	△ 1,543
特定資産取得支出計	0	1,643	△ 1,643
②固定資産取得支出			0
什器備品購入支出	1,650,000	1,650,000	0
投資活動支出計	1,650,000	1,650,000	0
投資活動収支差額	0	△ 1,643	1,643
Ⅲ 財務活動収支の部			0
1. 財務活動収入			0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ 予備費支出	0	—	—
	0		0
当期収支差額	△ 3,879,720	△ 2,774,984	△ 1,104,736
前期繰越収支差額	7,647,827	7,647,827	0
次期繰越収支差額	3,768,107	4,872,843	△ 1,104,736
			0

収支計算書に対する注記

1．資金の範囲

資金の範囲には、現金、普通預金、郵便振替貯金、売掛金、未収入金、前払金、立替金、仮払金、買掛金、未払金、未払法人税等、未払消費税等、前受金、預り金を含めることにしている。なお、前期末及び当期末残高は下記 2. に記載するとおりである。

2．次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

（単位：円）

科目	前期末残高	当期末残高
現金	287,572	272,812
普通預金	8,456,097	5,896,839
郵便振替貯金	0	0
売掛金	0	21,200
未収入金	2,000	26,750
前払金	0	
前払い費用	61,896	214,508
立替金		
合計	8,807,565	6,432,109
買掛金	208,895	38,535
未払金	642,983	709,145
未払法人税等	17,500	70,000
未払消費税等	202,300	361,300
前受金	0	10,000
預り金	88,060	370,286
合計	1,159,738	1,559,266
次期繰越収支差額	7,647,827	4,872,843

法　人　名：公益財団法人會津八一記念館

貸借対照表

平成 24年　3月 31日 現在

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,169,651	8,743,669	△ 2,574,018
売掛金	21,200	0	21,200
未収金	26,750	2,000	24,750
たな卸資産	7,120,317	6,994,632	125,685
前払費用	214,508	61,896	152,612
流動資産合計	13,552,426	15,802,197	△ 2,249,771
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金（基）	7,633,000	7,633,000	0
投資有価証券	190,831,500	190,813,500	18,000
基本財産合計	198,464,500	198,446,500	18,000
(2)特定資産			
退職給付引当資産	3,963,650	3,446,736	516,914
収蔵取得基金	16,951,543	18,600,000	△ 1,648,457
特定資産合計	20,915,193	22,046,736	△ 1,131,543
(3)その他固定資産			
什器備品	2,835,642	1,361,810	1,473,832
保証金	30,000	30,000	0
投資有価証券	353,000	353,000	0
ソフトウエア	0	10,230	△ 10,230
その他固定資産合計	3,218,642	1,755,040	1,463,602
固定資産合計	222,598,335	222,248,276	350,059
資産合計	236,150,761	238,050,473	△ 1,899,712
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	38,535	208,895	△ 170,360
未払金	709,145	642,983	66,162
未払法人税等	70,000	17,500	52,500
未払消費税等	361,300	202,300	159,000
前受金	10,000	0	10,000
預り金	370,286	88,060	282,226
流動負債合計	1,559,266	1,159,738	399,528
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,963,650	3,446,736	516,914
固定負債合計	3,963,650	3,446,736	516,914
負債合計	5,522,916	4,606,474	916,442
Ⅲ　正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産	198,464,500	198,446,500	18,000
（うち基本財産への充当額）	(198,464,500)	(198,446,500)	(18,000)
指定正味財産合計	198,464,500	198,446,500	18,000
2. 一般正味財産	32,163,345	34,997,499	△ 2,834,154
正味財産合計	230,627,845	233,443,999	△ 2,816,154
（うち特定資産への充当額）	(20,915,193)	(22,046,736)	(△1,131,543)
負債及び正味財産合計	236,150,761	238,050,473	△ 1,899,712

法　人　名：公益財団法人會津八一記念館

正味財産増減計算書内訳表

平成 23年　4月　1日 から平成 24年　3月 31日 まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計1	収益事業等会計2	法人会計	合計
Ⅰ　一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1)経常収益					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	3,203,957				3,203,957
基本財産受取配当金	130,000				130,000
基本財産運用益計	3,333,957	0	0	0	3,333,957
特定資産運用益					
特定資産受取利息	1,543				1,543
事業収益					0
書籍・グッズ等販売事業	0		4,731,084		4,731,084
館長講座事業収入	490,001				490,001
特別展事業収入	0		832,929		832,929
図録広告事業収益	638,099				638,099
鑑定事業収益	0	638,094			638,094
写コン共催・協賛収益	476,188				476,188
受託事業収益	23,195,443			7,406,412	30,601,855
事業収益計	24,799,731	638,094	5,564,013	7,406,412	38,408,250
受取寄付金					
受取寄付金	2,590,000				2,590,000
雑収益					0
受取利息	2,501				2,501
雑収益	129,954		338,471		468,425
雑収益計	132,455	0	338,471	0	470,926
経常収益計	30,857,686	638,094	5,902,484	7,406,412	44,804,676
(2)経常費用					
事業費					
期首たな卸高			6,994,632		6,994,632
書籍・グッズ等仕入高			3,246,844		3,246,844
期末たな卸高			△ 7,120,317		△ 7,120,317
給料手当	13,543,222	474,102	474,102	3,399,224	17,890,650
退職給付費用	382,516	15,507	15,507	103,384	516,914
福利厚生費	1,628,715	66,029	66,029	440,194	2,200,967
旅費交通費	1,288,773				1,288,773
通信運搬費	552,043				552,043
備品購入費	77,540				77,540
印刷・消耗品費	888,793				888,793
営繕費	1,008,370				1,008,370
清掃費	780,520				780,520
警備費	841,200				841,200
光熱水料費	2,077,567			230,841	2,308,408
租税公課	700				700
支払寄付金	133,780				133,780
委託費	338,000			136,000	474,000
企画事業費	380,961				380,961
特別展費（自）	3,576,510		1,174,727		4,751,237
鑑定費	0	203,483			203,483
自主常設展費	147,551				147,551
イベント事業費（自）	2,569,572				2,569,572
資料制作費	172,474				172,474
調査費	456,115				456,115
収蔵品整理整備費	294,309				294,309
常設展費	1,347,649				1,347,649
特別展費	285,714				285,714
雑費	169,106				169,106
事業費計	32,941,700	759,121	4,851,524	4,309,643	42,861,988
管理費					
打合せ・会議費				200,745	200,745
交際費				623,459	623,459
旅費交通費				1,310,411	1,310,411
通信運搬費				247,564	247,564
減価償却費	107,826				107,826
印刷・消耗品費	270,565			383,721	654,286
図書購入費	56,244			762	57,006
保険料	99,056				99,056
租税公課	79,174		15,215	700	95,089
研修費	142,152				142,152
広告宣伝費	397,450			9,524	406,974
委託費	300,000		107,619	226,000	633,619
雑費	34,772			93,883	128,655
管理費計	1,487,239	0	122,834	3,096,769	4,706,842
経常費用計	34,428,939	759,121	4,974,358	7,406,412	47,568,830
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,571,253	△ 121,027	928,126	0	△ 2,764,154
当期経常増減額	△ 3,571,253	△ 121,027	928,126	0	△ 2,764,154
2. 経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0		0	0
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0		0	0
当期経常外増減額	0	0		0	0
他会計振替額	403,549		△ 403,549	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,167,704	△ 121,027	524,577	0	△ 2,764,154
法人税、住民税及び事業税	0		70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額	△ 3,167,704	△ 121,027	454,577	0	△ 2,834,154
一般正味財産期首残高	34,778,394	△ 138,853	357,958	0	34,997,499
一般正味財産期末残高	31,610,690	△ 259,880	812,535	0	32,163,345
Ⅱ　指定正味財産増減の部					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	3,221,957				3,221,957
基本財産受取配当金	130,000				130,000
基本財産運用益計	3,351,957				3,351,957
一般正味財産への振替高	3,333,957				3,333,957
当期指定正味財産増減額	18,000	0		0	18,000
指定正味財産期首残高	198,446,500	0		0	198,446,500
指定正味財産期末残高	198,464,500	0	0	0	198,464,500
Ⅲ　正味財産期末残高	230,075,190	△ 259,880	812,535	0	230,627,845

法　人　名：公益財団法人會津八一記念館

財　産　目　録

平成 24年　3月 31日 現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金	手元保管	運転資金として	272,812
	普通預金			
		第四銀行本店	運転資金として	3,292,229
		第四銀行本店	運転資金として	2,410,367
		北越銀行古町支店	運転資金として	181,928
	郵便振替貯金	ゆうちょ銀行	運転資金として	12,315
			＜現金・預金計＞	**6,169,651**
	売掛金		グッズ等販売の売掛金である。	21,200
			＜売掛金計＞	**21,200**
	未収金	ヤマト運輸他	横額修復代金	26,750
			＜未収金計＞	**26,750**
	たな卸資産	色紙・未表装・額	収益２の在庫である。	2,098,224
		書籍	収益２の在庫である。	3,436,822
		茶碗・土瓶	収益２の在庫である。	39,720
		切手・便箋・クリアファイ	収益２の在庫である。	1,386,627
		Ｔシャツ	収益２の在庫である。	158,924
			＜たな卸資産計＞	**7,120,317**
	前払費用	アルバイト	24年度企画展の人件費である。	24,000
		三井住友海上火災	普通傷害保険の24年度分であ	56,512
		新潟日報旅行社他	24年度企画展の旅費である。	128,800
		他		5,196
			＜前払費用計＞	**214,508**
流動資産合計				13,552,426
（固定資産）				
基本財産				
	定期預金（基）	北越銀行古町支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	7,100,000
		第四銀行本店	同上	353,000
		第四銀行本店	同上	180,000
	投資有価証券	新潟日報社株　50円	同上	1,300,000
		東京都公募公債第661回	同上	189,531,500
			＜基本財産計＞	**198,464,500**
特定資産				
	退職給付引当資産	ゆうちょ銀行	職員退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	2,357,462
		第四銀行本店		1,606,188
			＜退職給付引当資産計＞	**3,963,650**
	収蔵取得基金	北越銀行古町支店	會津八一に関する資料の取得を円滑かつ効率的に行うため、収蔵品取得基金として管理している。	6,951,543
		東京都公募公債第661回		10,000,000
			＜収蔵取得基金計＞	**16,951,543**
その他固定資産				
	什器備品	原像「天つ乙女」	展示用會津八一の作品	1,050,000
		展示用棚	同上	214,214
		「みとらしの」軸装	展示用會津八一の作品	876,190
		伊藤俊光宛　封書	展示用會津八一の作品	457,143
		２折屏風	展示用會津八一の作品	238,095
	保証金	㈱都タクシー　タクシー利用保証金	管理運営の用に供している。	30,000
	投資有価証券	東京都公募公債第661回	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として	353,000
			＜その他固定資産計＞	**3,218,642**
固定資産合計				222,598,335
資産合計				236,150,761

（流動負債）				
	買掛金	(有)ナガイ画材	収益２の書籍等仕入分である。	38,535
			＜買掛金計＞	**38,535**
	未払金	社会保険事務所	公益目的事業及び収益・管理目的の業務に従事する職員の3月分社会保険である。	250,629
		北陸ガス㈱	公益目的事業及び管理目的の業務に使用するガス料金である。	104,721
		東北電力㈱	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する電気料金である。	105,818
		新潟市水道局	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する水道料金である。	6,534
		ＮＴＴ東日本株	公益目的事業に使用する電話料金である。	36,800
		㈱インテリア山下	公益目的事業の展示ケース修理代金である。	29,400
			その他	175,243
			＜未払金計＞	**709,145**
	未払法人税等			70,000
	未払消費税等			361,300
	前受金		24年度鑑定料前受金である。	10,000
	預り金	職員	源泉所得税	247,320
			社会保険料	122,966
			＜預り金計＞	**370,286**
流動負債合計				1,559,266
（固定負債）				
	退職給付引当金			3,963,650
固定負債合計				3,963,650
負債合計				5,522,916
正味財産				230,627,845

財務諸表に対する注記

1．　重要な会計方針

(1)　有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は、償却原価法（定額法）を採用している。

(2)　棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産は最終仕入原価法による原価法を採用している。

(3)　固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は次の方法を採用している。

器具及び備品　定率法
無形固定資産　定額法

(4)　引当金の計上基準

退職給付引当金

職員に対する退職給付金の支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜経理方式を採用している。

2．　基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	533,000			533,000
定期預金	7,100,000			7,100,000
投資有価証券	190,813,500	18,000		190,831,500
小　計	198,446,500	18,000		198,464,500
特定資産				
退職給付引当資産	3,446,736	516,914		3,963,650
収蔵品取得基金	18,600,000	1,543	1,650,000	16,951,543
小　計	22,046,736	518,457	1,650,000	20,915,193
合　計	220,493,236	536,457	1,650,000	219,379,693

3．　基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定期預金	533,000	533,000	0	0
定期預金	7,100,000	7,100,000	0	0
投資有価証券	190,831,500	190,831,500		
小　計	198,464,500	198,464,500	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	3,963,650	0	0	3,963,650
収蔵品取得基金	16,951,543	0	16,951,543	
小　計	20,915,193	0	16,951,543	3,963,650
合　計	219,379,693	198,464,500	16,951,543	3,963,650

4．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
原像「天つ乙女」	1,050,000		1,050,000
ソフトウェア	310,000	310,000	0
展示用棚	378,000	163,786	214,214
「みとらしの」軸装	876,190		876,190
伊藤俊光宛　封書	457,143		457,143
２折屏風	238,095		238,095
合　計	3,309,428	473,786	2,835,642

5．満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	帳簿価額	時価	評価損益
東京都公募公債第 661 回	199,884,500	212,973,400	13,088,900
合　計	199,884,500	212,973,400	13,088,900

6．補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受託事業収益						
管理受託事業	新潟市	0	30,601,855	30,601,855	0	—
						—
合　　計		0	30,601,855	30,601,855	0	

7．指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内　　容	金　　額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	3,203,957
基本財産受取配当金	130,000
合　　計	3,333,957

附属明細書

1　基本財産及び特定資産の明細

（単位:円）

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金（第四銀行本店）	353,000			353,000
	定期預金（第四銀行本店）	180,000			180,000
	定期預金（北越銀行古町）	7,100,000			7,100,000
	投資有価証券				
	（新潟日報社株）	1,300,000			1,300,000
	（東京都公募公債第 661 回）	189,513,500	18,000		189,531,500
	基本財産合計	198,446,500	18,000		198,464,500
特定資産	退職給付引当資産				
	普通預金（第四銀行本店）	1,089,980	516,208		1,606,188
	普通預金（郵便局）	2,356,756	706		2,357,462
	収蔵品取得基金				
	東京都公募公債第 661 回	10,000,000			10,000,000
	普通預金（北越銀行古町）	8,600,000	1,543	1,650,000	6,951,543
	特定財産合計	22,046,736	518,457	1,650,000	20,915,193

2　引当金の明細

職員退職給付引当金

（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
職員退職給付引当金	3,446,736	516,914			3,963,650